

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	MARUKO	事業所番号	4312700398
住 所	熊本県宇城市松橋町久貝 1 3 4 番地	管理者名	松田 敬司
電話番号	0964-33-3833	対象年度	令和 3 年度

地域連携活動の概要

<活動内容>		<活動の様子>	
<活動場所> (株) ライズナー養殖場 <実施日程> 令和3年4月～令和 4 年3月 <実施した生産活動・施設外就労の概要> IoT等の設備を利用した完全陸上車海老養殖事業 付加価値の高い商品開発 <利用者数等>		<活動の様子の写真>  ①養殖用水槽  ②養殖用水槽 塩分濃度：1.03以上 作業内容 1：フン・餌の食い残り除去 2：温度、塩分濃度の管理 3：朝・夕の餌やり 4：濾過フィルターの掃除 5：出荷の準備 6：出荷時の梱包  ③濾過器 <成果物の写真>  成長した車エビ	
<目的> <地域連携活動のねらい> 企業様と連携し新しい商品の開発をするともに、よりよい関係性を構築することができる。 <地域にとってのメリット> 企業様の人材不足の解消と事業拡大の実現。 陸上水槽での完全飼育を実現することで病原菌の発症防止と自然災害のリスクの減少により、安心安全な車エビの提供の実現につながる。 <対象者にとってのメリット> 水槽管理と発送作業の取り組みがしやすい作業であり、新規で始まる事業で、今後利用者の方の一般就労の幅を広げることにつながる。			
<成果> <実施した結果> 企業様との良好な関係を気づくことができ、1から商品の開発をしていることで利用者さんの作業内容を一緒に考えていいけている。障がい者の方の仕事への理解と今までにない仕事先として作業の幅を広げることにつながってくる。 <得られた成果> エビの安定した販売が実現出来たら、1つの水槽で5名分の利用者さんへの支払う賞金の総額以上となり、このパッケージを広めていくことで、1水槽5名のユニットを組むことができる。今後事業展開を広げていきたい。 <課題点> 車エビに傷や触覚の切れなど、販売ができない商品についての販路先の拡大をしていく必要がある。		<活動内容の追加コメント> ・毎日の餌の食べ残り・脱皮ガラ・フンの除去をおこなわないと水質が悪くなるので水質の管理も今後見ていく必要がある。 ・利用者さんがやりやすいように手順書を作成する必要がある。 ・定期的な水槽の砂利を出す方法について、改善を考えていく必要がある。	

連携先の企業等の意見または評価

<連携した結果に対する意見または評価> 最終的には玄翠という名前でブランド化を行い、付加価値の高い商品にしていきたいと考えます。 <今後の連携強化に向けた課題> 作業内容については、A型事業所の利用者さんに適した内容になっていると考えます。今後の商品開発にむけて連家をしていきたいと思います。			
連携先企業名	株式会社 ライズナー	担当者名	高江 大作